

全道家庭部会意見・体験発表大会 開催



発表・表彰される宍戸さん

8月26日(月)、本校にて第12回北海道高等学校長協会家庭部会意見・体験発表大会が行われました。意見・体験発表大会は、家庭科の学びを通じた自己の成長を発表する場です。今年度は置戸・剣淵・名寄など全道から7名の応募があり、置戸高校の生徒さんが最優秀賞となりました。本校からは2年G組宍戸紗英さんが「コスチュームデザイナーになるために」という発表題で参加し、優秀賞を受賞しました。自分の将来の夢に近づくために本校に入学し、生活デザイン科での学びがその夢に繋がっていることを実感し、今後も前向きに頑張っていこうという内容でした。宍戸さんはこの後10月に本校で開催される産業教育意見体験発表大会に家庭部会代表として発表します。

また、当日は1・2年生の家庭クラブ役員が運営にあたり、大会や参加者交流会をスムーズに進行し、生活デザイン科1年生が会場にて発表を視聴しました。1年生にとっても、夢に向かって努力している他校の生徒の発表を実際に聞くことができ、貴重な機会となりました。



〈視聴した1年生の感想〉

- 色んな地域の生徒さんの発表を聞いて、自分の成長を振り返ることや興味を持った分野に本気で取り組んだり、それを自ら研究したりする行動力や、今の自分と向き合うことが足りないのではないかと気がきました。今回の発表を聞いて、自分の興味あることを学び続け、それを活かせるようになりたいです。
- 今回初めて体験発表を聞いて、福祉の話しやあこがれ、夢などすごく興味深い体験談を聞いた。みなさんの体験談を聞いて、自分も将来の夢に向けて何があるか考えるようになった。学校生活を振り返ってみると、自分はあまり努力できていないと思った。今回の話しを聞いて、何か困っている人がいたら、積極的に手を差し伸べたいと思った。



参加者交流会の様子



発表を視聴する1年生